

調査5 令和元年に起きた台風19号など豪雨による自然災害の影響について

- ① 令和元年の自然災害が及ぼした自社経営の影響について、「影響あり」「多少影響あり」が全体で40%で「影響なし」が60%であった。多摩市では川の氾濫などはなかったものの4割の事業所で影響を受けたことがわかった。
- ② 取引先については、「影響あり」「多少影響あり」が全体で37%、「影響なし」が63%であった。業種や規模の大小にかかわらず、自然災害による間接的被害が見受けられた。
- ③ 災害時の事業継続対応については、「対応計画あり」が18%、「対応計画なし」が67%、「計画検討中」が15%であった。業種で見ると比較的に対応計画を整備されているのが、運輸業や百貨店・スーパーなどの小売業であった。
自然災害の影響を考えると、災害時の対応計画は今後整備する必要があると思われる。

